

◆ 事務局より連絡とお願い

- 1、住所・勤務場所の変更、改姓等は速やかにご連絡をお願い申し上げます。配本に支障のないようにしたいと思います。
- 2、個人会員の方は会費の前納（六月末までに）に御協力をお願い申し上げます。送金の時は何のお金か必ず記載して下さい。
- 3、会員の継続・退会・入会について
 - イ、退会の連絡のない場合は継続なさるものとして引きつづき配本いたします。
 - ロ、退会なさる場合は速やかにご連絡下さい。
 - ハ、入会希望の方は会費を添えてお申し込み下さい。余裕のない時は次年度からになります。
 - ニ、入会希望の方は、お申し込みの用紙を添えてお申し込み下さい。

次の順序で配本の予定です。

- 上毛ものしり事典 — 上州事始め —
- 群馬の民話
- 上州のおんな
- 群馬の随筆集

千 三七一

前橋市城東町二丁目三の三
群馬県立図書館内

みやま文庫事務局

電話前橋三局三〇〇八番
振替東京四一四二五九番



みやま文庫

会報

No. 26

51. 10. 20

十六年目のみやま文庫

事務局長 関 俊 治

昭和45年に刊行された『みやま文庫の十年』という小冊子をみてみると、この文庫の出現が、群馬県の戦後の出版文化に一時期を画するような出来事だったことがわかる。この文庫の創設に関係した人は、本県の政治、経済、文化のトップレベルにいる人たちであって、官と民とがまさに一体となった全県的な協力の中で、本文庫が誕生をみたのであった。こういう創設期の記録から、生みの苦しみを味った関係者の努力もさることながら、本文庫がもともと多くの県民から支えられる基礎がそなわっていたということに、まざまざと見せつけられる思いがするのである。だからこそ、十六年目にはいった現在、三千を超える大きな組織に成長したのである。

この十六年、ずっと会長をつとめていただいた神田伸六

氏が、知事退任に伴い、会長の職を退かれた。後任会長には、新知事の清水一郎氏が就任された。神田前会長は、文庫の創設に当っても熱心に推進され、しかも知事という要職にありながら、この文庫が県を代表する文化事業であるという観点に立つて、陰に陽に文庫の発足のためにお骨折りくださった。御退任に際して、会員の皆さんと共に、心から感謝の意を表したい。

また原議定常任委員の改選に伴い、役員にも変更があったので、現在の役員は次のとおりである。

会長 清水一郎 副会長 山川武正

運営委員長 田中原大郎

編集委員長 相葉 伸

理事 柳沢本次、西ヶ久保潔郎、中村英一、高瀬茂郎、

日野敏三、萩原 進

監事 古屋栄吉、大図暉之丞

みやま文庫も、昭和五十年年度までに刊行した本が六十一号に達した。刊行計画に当っては、会員の皆さんの文庫に寄せる御期待を裏切らないよう努力している次第だが、なんといっても皆さんからの声を参考にして働かないものにするのが必要である。本紙を通じて呼びかけてはいるが、なかなか御意見が出てこないらみがある。そこで今回は、会報に添えたハガキで、全会員からアンケートをとることになった。皆さんのみやま文庫をより一層充実したバラエティに富むものにしたかったので、全員が回答されるようお願いしたい。

昭和51年度予算

収入

科目	目	予算額	摘要
会費		8,970千円	会費 3,450人分
補助金		700	県費補助金
寄付金		10	
雑収入		470	送料、既刊図書分売代、利子
繰越金		138	前年度繰越金
計		10,288	

支出

科目	目	予算額	摘要
人件費		1,470千円	職員給与費、旅費
会議費		60	理事会、企画会議、幹事会費
原稿料		420	原稿料 4 卷分
編集費		160	資料調査費、編集諸費
印刷費		7,120	文庫図書印刷費
発送費		540	郵送料、配本旅費
事務費		160	事務費、備品費
諸費		155	会費振替払込料負担、普及諸費
予備費		203	
計		10,288	

収支差引残 0円

付記

昭和51年度予算につきましては、前記しましたように会費の値上げが行なわれませんでしたので、これに基づいて計上されたものであります。
なお、これによる増収分については主として印刷経費に充当し、充実した図書出版の保持を期した次第であります。ご諒承の上ご協力下さるようお願いいたします。

◆50年度の決算並びに51年度予算について

次に50年度の決算並びに51年度予算について掲げましたので、ごらんの上ご了承下さいませようをお願い申し上げます。

昭和50年度決算

収入

科目	目	収入額	説明
会費		7,486,530円	会費 3,403人分(含過年度分)
補助金		650,000	県費補助金
雑収入		452,970	送料、既刊図書分売代、利子
計		8,589,450	

支出

科目	目	支出額	説明
人件費		1,167,350円	職員給与費、旅費
会議費		49,745	理事会、企画会議、幹事会費
原稿料		158,000	原稿料 2 卷分
編集費		119,460	資料調査費、編集諸費
印刷費		6,237,600	文庫 4 卷 印刷費
発送費		459,972	郵送料、配本諸費
事務費		119,906	事務費、備品費
諸費		138,885	会費振替払込料負担、普及諸費
計		8,450,918	

差引残高 138,532円 翌年度へ繰越

付記

本年度の財政運営については、主体経費である印刷費の値上りから終始運営に苦慮を重ねて来た実情であります。このため事業(出版)の円滑化をはかるため51年度より会費引上げのやむなきに至った次第でありますので、ご理解下さるようお願いいたします。



みやま文庫

会報

No. 26

51. 10. 20

◆ 会員に対するアンケートについてお願い ◆

会員の皆様にはいつも御協力をいただき感謝の外ありません。

今度皆様の御意見御希望を伺って本会の発行計画に賛し、いよいよ有意義な事業を進展させたいと思いますので、振って応答下さいますようお願い申し上げます。用紙をお届け申し上げましたので御記入の上お送り下さいますよう、重ねてお願い申し上げます。

◆ みやま文庫原稿募集について

当文庫に於ては毎年度みやま文庫の原稿を懸賞募集しております。規定は次のとおりです奮って多数ご応募下さいませようお願い申し上げます。

みやま文庫懸賞原稿募集

◎ 応募規定

(一) 応募原稿

(1) 郷土群馬に関する未発表の著作（みやま文庫に向くもの）

(2) 内容は高等学校卒業程度の学力で理解できるもの。当用漢字新かなづかいを原則とする。

(3) 執筆は個人でもグループでもよい。

(二) 応募資格 みやま文庫会員（応募の際入会も可）

(三) 宛先

〒371 前橋市城東町2の3の3 群馬県立図書館内

みやま文庫事務局

電話 前橋 31 - 3008

(四) 入賞 毎年3月6日切6月末発表

(五) 入賞 賞金八万円
（みやま文庫として刊行する）

佳作 若干名 呈薄謝

(六) 枚数 400字詰原稿用紙 (900枚→350枚) ^{以内}

(七) 選考 みやま文庫選考委員会

(八) その他

入賞作品を刊行する場合は編集委員会で加除訂正を求めることある。

〒371 前橋市城東町二丁目3の3 群馬県立図書館内

みやま文庫事務局

電話前橋31局3008番 振替東京4-14259番